



新たな年度

日々の業務ありがとうございます。

当社は、56期が終わり、57期が始まりました。56期は、コロナ禍の中皆様には大変ご苦勞をお掛け致しました。心より感謝申し上げます。お客様からも、皆様の日頃の業務に対してのお礼が数々頂いております。

皆さんが行っている業務は、今、大変注目を浴びています。エッセンシャルワーカーという言葉が耳にしたことがあると思いますが、生活をしていくうえで、必要な業種、人たちのことを指します。まさに、その通りです。

皆さんが行っている業務は、社会から必要とされ、建物を利用している方々へ衛生面において大きく貢献しているということです。

日々のご苦勞、大変察していますが、どうかこの仕事に誇りを持っていただき、「なくてはならない存在」に邁進していただきたいと思っております。まだまだ、コロナとの付き合いは長くなりそうですが、お体には重々ご自愛しながら、ワクワクしながら毎日を楽しみましょう。

代表取締役社長 坂本 哲啓

第1回スマイルカップ 受賞者の皆様



☆事故共有☆

①ウォシュレットの「ノズル清掃」のボタンが無い現場でのこと。

ノズルをきれいにしたい！との思いから、ノズルが出てきて戻る前に指で抑えるようにしていました。今回の事故は、強く引っ張り過ぎたために、便座とノズルをつないでいる線を切断してしまいました。本来、機械が自動で動いているものを遮る事はしてはいけません。「ノズル清掃」ボタンがないトイレの場合でも、ノズルを出す方法はあります。その時は自分で判断せずに、担当者に確認して下さい。トイレの機種別の取扱説明書で確認しましょう。



②機械から出ている電源コードが、途中断線していることに気づいた。コードがコンセントに繋がったまま、ニッパーで切り感電した。

③コンセントからコードを外そうとしたが、なかなか取れずハサミを使い外したらショートした。



「あり得ない」と思う方もいるかもしれませんが、ですが、実際に事故を起こしてしまった人達の中には、理由が分からなかった方も。知らないことが事故に繋がることもあります。客観的に物事を考える、周りの人たちの様子を見てみる、そんなことで防げます。みんなで事故を無くしていきましょう。

第2回は只今集計中です。お楽しみに～♪